

縄文をテーマとした市内周遊ルート構築業務委託仕様書（案）

1. 委託業務名

縄文をテーマとした市内周遊ルート構築業務

2. 業務の目的

長岡市（以下、「市」という。）は、縄文文化を代表する文化資源である火焰土器が初めて出土された地であり、市内には馬高縄文館や新潟県立歴史博物館など、縄文関連施設も充実している。しかし、これまで「縄文」（縄文文化や火焰土器）を観光誘客策として活用した事例は少ないことに加え、現状として縄文コンテンツだけでは誘客力が弱いことも否めない。縄文と、そのほかの市が誇る観光コンテンツ（花火、日本酒等の醸造文化、錦鯉、自然、温泉等）を有機的に結びつけることで市全体の観光地的魅力を高め、滞在時間の拡大も期待できることから、今回、縄文をテーマとした市内周遊ルートを構築し、国内のみならず、主に欧米豪圏をターゲットとした海外からの誘客を目指す。

3. 委託期間

契約締結の日から令和3年2月26日（金）まで

4. 業務内容

（1）縄文をテーマとした市内周遊ルートの造成

- ①市内の縄文関連コンテンツとそのほかの市内観光コンテンツを有機的に組み合わせ、周遊ルートを3つ造成すること。3ルートのうち2ルートを日帰り、1ルートを1泊2日で設定し、それぞれ縄文関連コンテンツを必ず1つ以上入れること。主なターゲット先を欧米豪圏とし、これらの嗜好を意識したルート内容とすること。
- ②造成にあたっては、行政や観光事業者等と連携し、縄文も含めた観光コンテンツの掘り起こしや分析を行った上で、テーマ性のあるルートにすることが望ましい。

（2）モニターツアーの実施とルートのブラッシュアップ

- ①（1）で造成した周遊ルートの内容を検証するモニターツアーを実施し、内容のブラッシュアップを図ること。なお、具体的なツアー実施方法（モニターの属性や人数等）について提案すること。

（3）周遊ルートパンフレット作成

- ①周遊ルートを記載したパンフレットを日本語と英語で作成すること。カラー印刷とし、部数は各1,000部とする。デザイン、サイズ、紙質等は提案による。

（4）情報発信業務

- ①周遊ルートを中心に、ターゲット先である欧米豪圏に対して情報発信を行うこと。なお、具体的な発信手法（SNS、紙媒体、インフルエンサー等）について提案すること。

5. 成果品

- （1）モニターツアーの実績報告書
- （2）周遊ルートパンフレット（日本語・英語各1,000部以上）
- （3）欧米豪圏をターゲットとした情報発信業務の実績報告書

なお、(1)と(3)の様式等については市と協議の上、決定する。

6. 留意事項

- (1) 業務の遂行にあたっては、市と随時打合せの上、行うこととする。
- (2) 本仕様書に定めのない事項については、市と受託事業者が協議の上、これを定めるものとする。
- (3) 業務の遂行にあたり、第三者が所有する素材を用いる場合には、受託事業者の責任において著作権等、一切の権利関係処理を行うこととする。
- (4) 本件業務で取得した全ての財産は、市に帰属するものとする。また、本件業務の実施により生じた著作物に関する全ての著作権は、市に帰属する。ただし、受託事業者が単に使用する場合には、市と協議するものとする。